

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」開催要綱

1. 趣旨

がん対策については昭和59年から開始した「対がん10ヵ年総合戦略」、平成6年から開始した「がん克服新10ヵ年総合戦略」、さらに平成16年から開始した「第3次対がん10ヵ年総合戦略」に基づき取り組んできた。

その後、本会議における検討を経て、平成26年からは、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣の確認の下に策定された「がん研究10ヵ年戦略」に基づき、がん研究を推進しており、平成31年には本会議において「がん研究10ヵ年戦略」の推進に関する報告書（中間評価）を取りまとめている。

令和5年3月に閣議決定された「第4期がん対策推進基本計画」において、「国は、「がん研究10ヵ年戦略」の中間報告書や本基本計画を踏まえ、がん研究の更なる充実に向け、戦略の見直しを行う。」と記載されており、未だ克服すべき課題も多くあることから、がん研究の今後のあるべき方向性と具体的な研究事項等を総合的に検討する場として本会議を開催する。

2. 検討事項

- ・ これまでに行われてきたがん研究の評価について
- ・ がん研究における目標について
- ・ 今後のがん研究における重点研究分野と支援事業について 等

3. その他

- (1) 本会議は、内閣府健康・医療戦略推進事務局長、文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務・サービス審議官が協働し、別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本会議には、構成員の互選により座長をおき、会議を統括する。
- (3) 本会議には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本会議は原則として公開とする。
- (5) 本会議の庶務は、内閣府、文部科学省、経済産業省の協力のもと、厚生労働省が処理する。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本会議の開催に必要な事項は、座長が内閣府健康・医療戦略推進事務局長、文部科学省研究振興局長、厚生労働省健康局長、経済産業省商務・サービス審議官と協議の上、定める。

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」構成員名簿

氏名	所属・役職
あくつ ゆき 阿久津 友紀	北海道テレビ放送株式会社東京編成業務部長 SODANE 編集長
いしおか ちかし 石岡 千加史	公益社団法人日本臨床腫瘍学会 理事長 東北大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学分野 教授 東北大学病院腫瘍内科長
うちほり ゆきお 内堀 幸夫	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門量子医科学研究所所長
おおい けんいち 大井 賢一	認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー 事務局長
くろせ いわお 黒瀬 巖	公益社団法人日本医師会 常任理事
こせき はるひこ 古関 明彦	国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 副センター長
さや ひでゆき 佐谷 秀行	一般社団法人日本癌学会 理事長 藤田医科大学がん医療研究センター 特命教授兼センター長
すえまつ まこと 末松 誠	公益財団法人実験動物中央研究所 所長
どき ゆういちろう 土岐 祐一郎	一般社団法人日本癌治療学会 理事長 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学 教授
なかがま ひとし 中釜 斉	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
なかむら ゆうすけ 中村 祐輔	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長
やじま ゆういちろう 谷島 雄一郎	ダカラコソクリエイト 発起人・世話人 / カラクリ Lab. 代表
やすかわ けんじ 安川 健司	日本製薬工業協会 副会長 アステラス製薬株式会社 代表取締役会長
やまもと あきお 山本 章雄	一般社団法人日本医療機器産業連合会 副会長 富士フィルムヘルスケア株式会社 代表取締役社長

(五十音順、敬称略)

「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」参考人名簿

氏名	所属・役職
こおりやま ちはや 郡山 千早	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学 教授
なおえ ともき 直江 知樹	国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長
にしかわ ひろよし 西川 博嘉	名古屋大学大学院医学系研究科 微生物・免疫学講座分子細胞免疫学 教授
の だ てつお 野田 哲生	公益財団法人がん研究会がん研究所 所長
ふくだ たかし 福田 敬	国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター センター長
ほった ともみつ 堀田 知光	国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長
ま の ひろゆき 間野 博行	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事・研究所長
みやぞの こうへい 宮園 浩平	国立研究開発法人理化学研究所 理事 東京大学大学院医学系研究科 卓越教授

(五十音順、敬称略)